

- 1…公益財団法人埼玉県サッカー協会が発足します 総務委員長 松本利春
それぞれの3.11
- 2…新理事、評議員紹介・ホームページが変わります
医事委員会より～緊急提言～
- 3…SMC サテライト講座修了
- 4…1級審判合格・インターンシップ
- 5…大会記録
- 8…審判委員会より・インフォメーション
編集後記



●発行/発行人：会長・相川宗一 編集人：高橋 明 ●発行所/(公財)埼玉県サッカー協会 住所：〒330-0074さいたま市浦和区北浦和1-21-18雁ヶ首ビル204号室
Tel048-834-2002・Fax048-834-2004 http://www.saitamasfa.com/(年間購読料 1500円)

公益財団法人埼玉県サッカー協会が発足します

総務委員長 松本 利春

去る3月13日、埼玉県公益法人認定等審議会から、SFAは公益財団法人として認定をいただきました。これにより、4月1日より名称を財団法人埼玉県サッカー協会から公益財団法人埼玉県サッカー協会とすることになりますのでお知らせ致します。

新法人法の施行により、この3年間、その方向性を検討し、申請書類を整えてまいりました。お手伝いいただいた新日本有限責任監査法人の皆様には心から感謝を申し上げます。また、最後の最後まで実務で頑張ってくれた事務局の皆さんにも感謝したいと思います。お疲れ様でした。

さて、この公益財団法人への移行により、経理の更なる透明化、

より詳細な情報公開などが求められております。しかしながら、これまでも公益事業が9割を締めている状況でしたので、業務そのものについては大きく変わることはないと思われま。確かに経理面では新たな資料作成など作業は増えますが、これはより公明さが求められることです。また役員には今まで以上に責任が加わりました。自覚を持って臨んでいただきたく存じます。

公益財団法人になりましたことをメンバー皆さんだけでなく、県民の皆さんにも理解していただき、よりよい協会運営にご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。

ホームページ移転のお知らせ(4月1日より)

平成24年4月1日を以て(財)埼玉県サッカー協会は公益財団法人へ移行致します。併せまして、公式ホームページをリニューアルすることになりました。つきましては、お手数ですが4月1日以降、下記のURLへリンクやブックマークの変更をお願い致します。

新URL <http://www.saitamafa.or.jp/> (※4/1より閲覧できます)

しばらくは暫定運営となり、ご不便をお掛けしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

それぞれの3.11 ～東日本大震災を風化させないために～

昨年の3月11日、皆さんはどこで何をしていたのでしょうか。私は、新橋のホテルの地下にいました。14時46分、にわかに大きな縦揺れが起こり、これまで体験したことのない危険を感じました。後で知りましたが、マグニチュードは9.0、最大震度は7。日本全国だけでなく、世界に大きな衝撃を与えました。

繋がらない携帯電話、動かない電車、大きな道路を歩く多くの人々……様々な情報は寸断され、途方に暮れてしまいました。私は新橋から友人の車で新宿へと移動し、そこから自宅まで歩くことを決めました。そこから明治通りを経て17号に進む中、上りも下りもまったく車は動かず、誰もがひたすら歩いていました。そういえば19時近くになり、時計を見て「評議員会が始まったのだろうか」と思ったりしました。約4時間かけてたどり着いた戸田橋を見たときに、どれだけ安堵したことか。まさか自分が“帰宅難民”になるとは思ってもいませんでした。

あれから1年です。10日、11日に開催されたJリーグ、県のアマチュアの試合においても黙祷が捧げられました。約2万人もの人々が亡くなり、今も行方不明もいらっやいます。改めて、ご冥福をお祈りしたいと思います。未だ沿岸部の復旧は遅れ、多くの人々がこれまで送っていた生活に戻れないでいることに心苦しさを感じています。

宮城県亘理町出身の大宮アルディージャの鈴木淳監督は10日

の試合後、こういう話をしました。「明日で1年になるが、私自身も苦しい思いでいました。少しずつ復興して元気になってきている人々もいる一方、苦しんでいる人たちもたくさんいます。我々がここでサッカーをしている姿を見て元気になってもらえれば良いと、選手たちもそういう気持ちを持ってゲームをしていました」余震も続いています。今一度、何ができるのかを考えたいと思っています。合掌。(広報：荒川)



写真提供：埼玉県社会人サッカー連盟

平成24年・25年度新役員決定

公益財団法人埼玉県サッカー協会 理事／評議員一覧			
会長	相川宗一	評議員	小原 薫
副会長・専務理事	横山謙三	//	小野哲男
副会長	星野隆之	//	佐藤正二
理事	平本一郎	//	金 一夫
//	柴崎康之	//	天沼達也
//	坂庭 泉	//	松原 裕
副会長	岡田 泉	//	吉原尊男
理事	高橋 明	//	森田洋正
//	西川誠太	//	田中龍太郎
//	松本利春	//	齋藤 毅
//	柏 悦郎	//	谷地田昌史
//	高橋勝行	//	鈴木 勇
//	宮崎幹夫	//	秋山和雄
//	駒崎昌利	//	福澤貢盛
//	忍田行廣	//	新井陽子
//	橋本光夫	//	大木正幸
//	関 純	//	高橋昭夫
//	関根俊江	//	野澤昌弘
//	鈴木 茂	//	月岡芳和
		//	福田直史
監 事	栗原靖治	//	齋藤由雄
//	原田 明	//	荒川裕治
//	船崎久壽	//	二瓶省三
		//	小林利成
		//	稲山貴代
		//	小高達朗
		//	大倉 浩

※理事は1期2年、評議員は1期4年

南部タウンミーティング開催

3月24日、戸田市文化会館において、タウンミーティングが開催されました。横山謙三副会長より、先日認可された公益財団法人への移行についての御礼から始まり、SFAの現状とこれからを説明しました。

質疑応答として、川口市協会より登録に関する質問がいくつかありました。まずは人口減による登録チーム、選手数の減少をどう考えるかという質問に対しては「確かに人口は減るでしょう。しかし、サッカーの魅力を感じてもらえれば、現在の人口減に比例して登録数が減るということはないのではないだろう」という答えをしました。登録することの意義について、SFAと市町協会が共になって説明する必要があるでしょう。

次に現状の登録が各種別連盟を通じて、SFA、JFA登録をしていることから、本当に市町協会が必要なのかどうかという質問がありました。これには「将来的に市町協会を通じて登録が行われるようにしたいと思っています。検討していきたいことのひとつです。市町協会からSFA、JFAという流れが作れば、情報共有もしやすいと思っています。ただ、ルール作りなどはお金がかかわることなので、皆さんと話し合いをしなければならぬと考えています。最初に川口で提言し、実現していただければ素晴らしいことだと思います」と答えました。

市町協会に登録事務をお願いするには、全市町村にサッカー協会があることが前提になるでしょう。今後の検討事項とし、取り組んでいきたいと考えています。



医事委員会より～緊急提言～

「選手が倒れたら、まずAEDのパッドを装着！」

昨年9月下旬、さいたま市内の小学校で駆伝練習を終えた女児が倒れ、保健室へ運ばれましたが、AEDを使用することなく、死亡致しました。このケースでは大勢の先生方がいたにも拘わらず、意識状態は不良でしたが呼吸や脈はありそうだと判断して、AEDの仕様を躊躇しているうちに救急隊が到着。その救急隊員のチェックではすでに心肺停止と判断、救急病院に搬送されましたが、翌日そのまま死亡したというものです。

2010年のアメリカ心臓協会や国際蘇生連絡協議会のガイドラインでも、非医師の場合には人工呼吸を省略し、即座に胸部圧迫（心臓マッサージ）を開始し、同時にAEDの手配をすることになっています。しかし一方で文言上では、やはり意識の確認、脈の確認、呼吸の確認などが必要ということも言われているため、施行者が非医師の場合には混乱してしまい、呼吸の確認、脈の確認に手間取ってしまい、いたずらに時間をロスしてしまう原因となっています。緊急蘇生の場合には、1分ごとに10%ずつ救命率が低下していくのですから、現場での数分のロスは非常に大きな問題です。

そこで医事委員会としては、県健康スポーツ医会、県医師会健康スポーツ医学委員会と共同で、以下の埼玉方式と称する新しいマニュアルを緊急提言いたしました。突然死の現場では、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人。発見者、同伴者など）は非医師であることがほとんどなので、呼吸や脈の確認に時間を取られるより、少しでも意識がおかしければ（意識が正常なら当然心肺停止や呼吸停止はありません）、呼吸や脈の確認をせずに、即座にAEDのパッドを装着し、電源を入れてください。パッドを装着し、電源を入れればコンピュータが作動し、AEDのショック（通電）が必要かどうか解析を開始します。このコンピュータの解析は極めて正確で、相当程度の熟達の循環器医師をしのぐと言われてしますので、安心してコンピュータの判断に任せることができ、それがベストの方法です。

倒れたその場で呼吸や脈の有無やその正常性を即座に、正確に判断することは難しいことが多く、ましてや非医師ではなおさらです。倒れている人が子どもの場合には特にそうなのです。不十分ながら呼吸があると判断しても、それが「あえぎ呼吸」であり、有効な呼吸ではないと後でわかっても、そのときは「時すでに遅し」ということになってしまうのです。

ですから、すぐにAEDのパッドを貼って、AEDの電源をオンにして、あとはAEDの判断に任せると一番なのです。たとえショックが不要な人に誤ってショックボタンを押しても通電はされないようになっています。もちろん、AEDを使用しても全員救命できるというものでもありませんが、AEDを実施したことで救われた命はこれまでに相当数の報告がされているのです。

埼玉方式ガイドライン～目の前で選手が倒れたら～

- 1 少しでも意識がおかしかったら
- 2 呼吸や脈の確認をすることなく、助けを呼びAEDの手配をする
- 3 直ちに胸部圧迫を開始する（人工呼吸は省略）
- 4 AEDが到着したら、迷うことなくすぐにパッドを貼って電源をオンにする
- 5 あとはAEDのアナウンスに従う

以上

※3月17日には、イングランド・FA杯準々決勝のトットナムvsポルトンにおいて、ポルトン所属のファブリス・ムアンバ選手（23）が心臓発作で倒れるという事故がありました。ピッチ上で心肺蘇生処置が行われ、その後、一命を取り留めました。1日も早い回復をお祈りします。

2011年度SMCサテライト講座、終了!

今年もSMCサテライト講座を開催し、25名の方に受講していただきました。

これまで短期間での講座でしたが、今回は基本1日1セッション、期間としては1月21日から2月26日という9日間にわたる長い期間で行うことにしました。ご面倒をおかけしましたが、熱心な皆様の姿勢のおかげで良い雰囲気での講座となりましたことを感謝致します。

長い期間の中で、逆に各自で交流を持っていただき、それぞれのお立場での課題や問題点をぶつけあう場もあり、懇親会を含めて意義ある講習会になったのではないのでしょうか。

同じサッカー、スポーツ仲間として、これからもよろしく願い致します。

また、講師の徳田康さん(愛知県サッカー協会専務理事)、財務担当の遠藤誠先生、ありがとうございました。



次年度も開催予定です。ぜひ多くの皆さんに学んでいただき、仲間を増やしていただければと存じます。(事務局 小豆澤直登)

●皆さんから感想文をいただきました

NPO法人飯能ブルーダー SV 野出 正和

自分達のクラブを少しでも良くしたい。ビジョンを共有して前に進みたい。

そんな思いで、参加することにしたのですが、一番の不安要素が飯能から北浦和まで毎週土日10回も通いけることができるかどうか?ということでした。

いざ講座が始まると、受講が楽しくてあっという間に10回の講座が終了した感じです。講座を受講しているメンバーですが年齢が10代から60代、そして学生さん、社会人、高校や大学のサッカー部の監督、Jリーグのスクールコーチ、NPO関係者、クラブのコーチや運営者、今はどこにも所属していないが今後の為に受講している人など。職業やサッカーとの関わり方など様々な、そして自分をしっかりと持った人達です。

みんなサッカーが好き、仲間が好き、子ども達が好き、そんな人たちとの受講が楽しくないわけがありません。僕自身はジュニアの指導者として「直接、きびしく育てる」タイプではなく「選手達が勝手に育つ環境づくり」を大切にしています。そうです、このSMCはまさにその楽しく学びたい環境が、主催者の協会スタッフのみならずと講師の先生そして受講者によって出来上がっていたのです。

「ビジョンを明確にし、共有し、実行する」そんな当たり前のことができていることに気づき、刺激とやる気と仲間を与えてくれた講座でした。みなさん本当にありがとうございました。

埼玉県立岩槻高校教諭 二瓶 省三

今年60歳になるのをきっかけに新たなものに挑戦しようと思ひ、スポーツマネージャーズカレッジに参加させてもらいました。高校教員を退職した後の自分の方向を決めようと講義を受けました。参加している受講生のエネルギーには驚かされました。19歳の学生から、すでにスポーツクラブを立ち上げ、独自のグラウンドまで確保して運営している方、Jクラブのスタッフなど幅広い人が参加し夢を語り、それをいつまでに実現するなど、意見を出し合いました。講義の時間では足りず、講義終了後飲みながら熱い議論をしました。新たなスタートが切れそうです。

大宮アルディージャ 山本 大

2011年度 SMC の埼玉サテライト講座に参加しました。私の参加理由は、業務であるサッカースクールのマネージメントに役立つと考えたからです。実際に参加して2つのことが重要だと感じました。

1つは、「1人よりグループワークのほうがより良いアイデアが生まれる。なぜならアイデアは既存のアイデアを掛け合わせたものだから。」ということです。他人は自分と違うアイデアを持っています。そのため新しいアイデアを作り出すには、グループのほうがより効果的です。

もう1つは、「クラブを実現するのは難しい。さらに難しいのは維持すること。」です。実際、維持に苦労しているクラブが多く、クラブ認可も維持方法の審査基準を厳しくしているとのこと。以上2つのことが強く残っている内容です。

しかしこの講座で一番良いのは、多くの仲間と知り合えることです。講義だけでなく昼食や懇親会を通し、年齢も職種も違う仲間ができたことは、私にとって大きな財産となりました。この講座で得た知識を、知り合った仲間と共に今後の県内スポーツ活動に生かしたいと思ひます。

大宮アルディージャU-12コーチ 西野 幸一

私は現在、大宮アルディージャサッカースクールのコーチをしています。今まで指導現場でサッカーの指導力の向上することに力を注いできました。指導をしていく中で、現場での指導で集団に関わること、クラブの事務関係の仕事に関わることで、組織をマネジメントする必要性も感じ、2011年度のSMC サテライトを受講しようと決めました。

SMC サテライトでは組織のビジョンを立てる、ビジョン達成の為に行動計画を立てる、事業計画の為に財務などについて学びました。講習では、グループワークや発表を中心に実践的な講義が進むことで、学んだ内容をその場で体験しながら学ぶことができました。他の受講生と話し合いをする中で、コミュニケーションをとる機会が多く、新しい仲間を作ることができました。同じ目的意識を持った受講生の方とのつながりができたことは、今後の活動や埼玉県のサッカーやスポーツの発展に大きくつながるものだと思います。SMC サテライトで学んだ内容を、一緒に学んだ仲間と共に今後の活動に活かして行きたいと思ひます。

※所属は受講時のものです。

福岡靖人さんが1級審判に昇格しました

2012年度、埼玉県からまた一人、1級審判が誕生しました。福岡靖人（ふくおかやすひと）さんです。愛知県出身で中高を千葉で過ごし、中央大学卒業後、チームマネージャーとして浦和レッズに加入。現在は強化部に籍を置き、2010年より外国籍担当としてポルトガル語、ドイツ語、英語を駆使して公私を問わず外国籍選手・スタッフの日本での生活を支えているそうです。今後のご活躍を期待しています。

「この度、1級審判員に認定していただきました福岡靖人です。この場をお借りして皆様にご報告をさせていただきます。

私は全国レベルでサッカー県として認知される埼玉県において8人目の1級審判員になりました。全国で1級審判員が161名であることを鑑みると、埼玉県は審判においても全国をリードする県です。個人として今後さらなるステップアップのためのいろいろな厳しい道がこれから始まると思いますが、その前に自身を育成してくれたこの埼玉県に対して貢献をしたいという思いがあります。埼玉県サッカー協会は『Wonderful SAITAMA サッカーで幸せな埼玉県へ』という理念を掲げており、その目的

達成のために審判が出来ることはレフリングの質をもっと追及していかなければならないと思います。サッカーの審判は審判員だけで出来るものではなく、選手、指導者、審判、サッカーに関わるすべての人の協力があって出来るものだと思います。

今、埼玉県の審判は岡田審判委員長をはじめとする審判インストラクターの方々が審判員を育成するシステムを作りベテランの審判、中堅の審判、若手の審判が互いの経験を伝え合いながらうまく融合しています。またJリーグや国際試合で試合を経験している審判員がそれぞれの経験を地元に戻元できていると思います。

『Wonderful SAITAMA サッカーで幸せな埼玉県へ』の理念のもと、目指すものは一つだと思います。今後の埼玉サッカーのさらなる発展のため、微力ではありますが貢献できるように努力していきたいと思っています」



福岡靖人氏

SFAインターンシップコース(春)開催

2009年9月より埼玉県教育委員会、県中体連、大学、SFAが連携した「大学生によるスポーツインターンシップ」を開催しています。この春休みを利用して、46名もの大学生が受講してくれました。

今回は従来の平成国際大学だけでなく、尚美学園大学でも開催し、初めて2カ所での講義となりました。

●平成国際大学

講師：西川誠太（平成国際大学サッカー部監督）

期間：2/28～3/2

受講者：24名（男子23、女子1）

●尚美学園大学

講師：坂庭 泉（SFA技術委員長）

期間：2/28、29、3/1、2、5（女子のみ）、6（男子のみ）、

受講者：22名（男子15、女子7）

西川講師の言葉を紹介させていただきます。

「みんなには中学生の立場で『これから大学生が指導に来る』となったら、どう思うか考えて欲しい。

期待に胸を膨らませる子もいれば、斜に構える子もいるかもしれない。

いずれにしても君たちをみんなが目目している。それはサッカー部だけではなく、他の部活の生徒や先生方、地域の方々を含めてそうです。



中学校に行ってみて、みんなを感じるはずですが。隣の部活動は先生もいなくて、遊び半分の活動をしているかもしれない。その生徒たちが羨ましそうにこっちを見ているはずですが。

身なり服装なんていうのは誰が見ても分かる、最低限のレベルの話です。最も大切にしたいのは、情熱や選手に対する真剣な気持ちです。

君たちに出会って、その選手の未来が変わるかもしれない。君たちが携わって大人になった選手が『あの時に来てくれた大学生のお陰で変わったんだよな』と思うかもしれない。それくらい君たちが中学校の指導に携わるということは大切なことです。

ぜひ君たちの力で選手の未来を変えて下さい」

46名がどのように活躍してくれるかが楽しみです。関係者の皆さん、いいサポートをお願いします。



大会記録 ● 県内大会

1種・社会人

第2回第1種選手権大会

3月11日～3月18日 熊谷スポーツ文化公園他

パイオニア川越 (Aブロック1位)	3	6	パイオニア川越
平成国際大学 (Bブロック2位)	2-1 2-5 PK 1-0		
ACアルマレッザ飯能 (Aブロック2位)	1-3 1-2		
尚美学園大学 (Bブロック1位)	4-1		
東京国際大学 (Aブロック3位)	1		
さいたまSC (Bブロック4位)	0-1 2-1	2	東京国際大学
城西大学 (Aブロック4位)	3-1		
坂戸シティーFC (Bブロック3位)	0		

※パイオニア川越が初優勝



決勝 パイオニア川越 vs ACアルマレッザ飯能



3位決定戦 尚美学園大学 vs 平成国際大学

2012年度彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会 兼 社会人連盟会長杯

1月22日～3月11日 埼玉スタジアム第3他

美里イレブンスターズ	1	4	越谷FC		
北坂戸SC	3				
川口SC	3				
ドルフィンズ	2				
狭山ラトルズ	3				
アルドール狭山	4				
江南ブロッコリー	2				
浦和レッズアマ	3				
越谷FC	2			6	越谷FC
大里FC	5 PK 4-1				
児玉町SC	0				
FC西武台	5				
越生SC	0				
サンバ南SC	5				
与野蹴魂会	3				
飯能セボジータス	1				

※優勝は越谷FC

2種

平成23年度県民体育大会兼高校サッカー新人大会

2月4日～12日 西武台高校第2グラウンド他

正智深谷	1-0 4-0	1	西武台		
西武文理	3-0 0-0				
伊奈学園	1-0 0-0 0-0				
本庄第一	1-1 1-2				
浦和西	2-0 1-1				
川口北	0-0 0-0 0-0				
昌平	0-0 4-0				
武南	1-0 3-3				
大宮東	3			6	西武台
深谷第一	1-0 2-0				
市立浦和	0-0				
越谷西	1-1 0-1 1-1 0-0				
川越南	0-0 1-3				
浦和東	0-0 0-2				
大宮南	0-0 0-2				
西武台	0-3 0-3				

※優勝は西武台高校(3年ぶり5度目)

●平成23年度埼玉県高等学校サッカー新人大会

「西武台3年ぶり5回目の栄冠」

県高体連技術委員 鈴木豊 (浦和東高校)

2月4日から2月12日にかけて、平成23年度埼玉県高等学校サッカー新人県大会が開催された。来年度に向け、新チームがどこまで仕上がっているか注目される大会であった。昨年の全国高校サッカー選手権埼玉県大会ベスト8と各支部予選を勝ち上がった8チームの計16チームによるトーナメント方式により行われた。

3年ぶり5回目の栄冠に輝いた西武台高校(以下、西武台)は昨年からレギュラー選手が数多く残り、選手権予選敗退以降、プリンスリーグ関東の残り2節で公式戦の経験を積み、現時点ではチームの完成度が最も高いチームであった。守備はゲームキャプテン垣内を中心に粘り強く、失点1と安定していた。左DFの平山は守備だけでなく、ゴール前に放り込めるロングスローやセットプレーのキッカーとして西武台の得点力を担っている。運動量豊富な左FW稲原と積極的に縦に仕掛ける右FW松山が攻撃の幅を広げ、FW小布施や途中交代出場FW小林のフィニッシュの精度が高く、4試合でチーム16得点と、高い得点能力に貢献している。

19年ぶりに南部支部大会を制した浦和西高校(以下、浦和西)。県大会でも台風の目となり、25年ぶりに決勝戦に進出した。MF山崎と富岡を中心に5人の中盤が、高い技術に裏付けされる速いパスワーク、さらに両サイドのスピードが加わり、相手ゴールに襲いかかる攻撃は迫力があつた。DF金子、仲村はヘディングが強く、放り込まれたボールは確実に跳ね返し、決勝進出へと導いた。

激戦の北部支部予選を制した本庄第一高校(以下、本庄一)はワンタッチパスの精度が高く、さらに流動的なポジショニングでゴールを狙う攻撃力と長身DF矢部、阿部を中心に堅い守りで優勝候補の正智深谷高校(以下、正智深谷)を破り、準決勝に進出した。フィニッシュの精度を上げ、バイタルエリアの崩しに磨きをかければ、今後各大会で上位進出する可能性が高い。同じくベスト4の大宮東高校は、堅い守りと前線の積極的な仕掛けで勝ち上がってきた。FWにボールが収まるとサイドに展開し、ショートパスで崩しにかかる。敗れたものの、準決勝西武台戦の後半の戦いができれば上位進出がみえてくる。

選手権大会に出場した浦和東高校はレギュラーメンバー全員入れ替わり、チーム結成が他チームより遅れたためか、チームの完成度は低く、選手の組み合わせやポジションを模索している最中であろう。

絶対的な優勝候補であった正智深谷は、1年生からレギュラーでMF清水とともに、昨年のメンバーでDF小島圭貴、FW小島凌、1年生FW阿道や俊足MF石橋が揃い、中央リーグを全勝で勝ち上がった。優勝に死角が無いように思われたが、準々決勝で本庄一の堅守に阻まれた。しかし、今後の各大会では中心となり、他チームにマークされることであろう。その中で確実に勝ち上がるため、小島監督がどこまで修正してくるか注目の的。

優勝した西武台に中央リーグで唯一黒星をつけた武南高校(以下、武南)は、昨年、1年生ながらレギュラーを獲得したMF鈴木を中心に中盤のバランスが良く、両サイドMFの豊富な運動量により多彩な攻撃を仕掛ける。昨年のツインタワーには劣るが、2人の長身CBは背後に放り込まれたボールの処理に課題が残るが、間違いなくレベルアップしてくると思われる。

東部支部予選を制した越谷西高校とともに、武南を破ってベスト8に進出した昌平高校(以下、昌平)。今回は東部支部代表校の活躍が目立った大会でもあった。

昨年からJFAが新設した全国リーグ(プレミアリーグ)、その大会に繋がるプリンスリーグ関東に、残念ながら来年度は埼玉県内の高体連チームは出場しない。これはプリンスリーグがスタートして以来、初めてのことである。関東大会予選は全てのチームが揃い、激戦が予想される。どのチームも出場のチャンスがあり、各チームの監督がどのように修正してくるか楽しみである。高い目標を持ち、日々のトレーニングに励んで欲しい。

最後に、高体連技術部としてここ数年取り組んでいる埼玉県高体連選抜の韓国遠征は、今年も実施予定である。昨年私自身が監督を務め、韓国遠征を実施した。同年代の高校チームと3ゲーム行い、互角以上の闘いをする事ができた。西武台の平山、浦和西の山崎、富岡、本庄一の矢部、正智深谷の清水、小島圭貴、小島凌、昌平の斉藤、野口、伊奈学園の石井、市立浦和の鹿沼など、この新人大会で活躍している選手が数多く参加した。チーム強化の忙しい時期に選手派遣に協力して頂いた各チームには、この場を借りて感謝申し上げます。年間を通じたU-16トレセン活動の活性化やこの年代の強化を目的に遠征を実施している。今後の御協力を引き続きお願いしたい。



高校サッカー新人大会決勝 西武台 vs 浦和西

3種

第14回埼玉県ユース(U-13)サッカー選手権大会

1月28日～2月18日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

浦和レッドダイヤモンズJY	8	2	坂戸ディプロマッツ	2		
さいたま市立尾間木中	1	4	0	越谷市立千間台中学校	0	
フットボールクラブ深谷	4	1	3	9	大宮アルディージャJY	
市立朝霞第二中学校	0	1	0	0	入間市立上藤沢中学校	
成立ゼブラフットボールクラブ	2	0	0	3	3	クラブアトレチコアレグレ
東松山市立東中学校	0	0	0	1	1	さいたま市立岸中学校
埼玉UNITEDフットボールクラブFESTA	6	3	0	2	2	GRANDE FOOTBALL CLUB
熊谷市立富士見中学校	0	0	1	1	1	行田市立西中学校

※優勝は浦和レッズジュニアユース

第21回埼玉県クラブユース(U-14)サッカー選手権大会

12月11日～3月10日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

浦和レッズ	0	0	ベレーニア	0	
プレジール入間	3	1	2	アレグレ	
コルージャ	2	1	0	越谷FC	
ディプロ	1	3	5	1	大宮FC
クマガヤ	3	3	1	5	HAN FC
カムイJr	2	0	1	3	武南Jr
1 FC	1	2	0	3	見沼FC
ゼブラ	3	0	2	1	フォルチ
Cano	2	0	1	0	大宮アルディージャ
GRANDE	3	0	1	0	

※優勝はクマガヤSC

4種

第6回埼玉県第4種新人戦中央大会

2月12日、19日 埼玉スタジアム第2他

1FC川越水上公園	1	0	2	コスモサッカークラブ川越	0	
Zeusis FOOTBALL CLUB	0	1	0	0	浦和木崎サッカースポーツ少年団	
浦和三室サッカースポーツ少年団	0	0	1	5	0	ALAD'ORO
江南南サッカー少年団	3	3	1	1	5	レジスタFC
戸塚フットボールクラブジュニア	1	0	2	1	0	大増サンライズフットボールクラブ
FC LIEN	0	0	0	0	1	烏天狗Jr.FC
新座片山FC少年団	2	2	0	0	0	サイタマジュニアフットボールクラブ
狭山台イレブンサッカークラブ	1	1	2	0	1	浦和尾間木サッカースポーツ少年団

※優勝は江南南サッカー少年団



決勝 江南南サッカー少年団 vs レジスタ FC

女子・高校

平成23年度埼玉県高校女子サッカー新人大会

1月8日～2月12日 川越運動公園

本庄第一	8	1	庄和	1	
和光国際	0	8	0	市立浦和	
淑徳与野	2	2	1	熊谷女子	
埼玉栄	2	0	3	川口総合	
入間向陽	0	1	4	浦和西	
松山女子	1	0	0	狭山ヶ丘	
南稜	0	0	0	北本	
花咲徳栄	6	2	1	5	久喜

※優勝は久喜高校(初優勝)



決勝 久喜 vs 本庄第一

2012 埼玉県女子新人戦(U-14)サッカー大会

1月15日～2月4日 妻沼葛和田グラウンド他

大宮FC-05	0	5	3	大宮FC-05
エルフェン・マリ	3	4	0	0
SEフィリアFC	2	0	1	
白岡SCL	0	0		

※優勝は大宮FCエンジェルス05

大会記録●県外大会

1種・社会人

関東サッカーリーグ昇格決定戦

1月14日 市原臨海競技場

東京23FC 2-1 ホンダルミノッソ狭山

※東京23FCが関東リーグ2部に昇格。

3種

2012 関東ユース(U-15)サッカーリーグ1部

●第4節終了現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	大宮アルディージャJY	3	1	0	13	4	+9	10
2	鹿島アントラーズFC JY	3	1	0	7	2	+5	10
3	横浜F・マリノスJY	3	0	1	12	8	+4	9
4	横浜FC	3	0	1	7	3	+4	9
5	川崎フロンターレU-15	2	1	1	10	6	+4	7
6	東京ヴェルディJY	2	0	2	11	7	+4	6
7	ジェフユナイテッド市原・千葉U-15	1	2	1	6	6	±0	5
8	鹿島アントラーズノルテ	1	1	2	5	10	-5	4
9	柏レイソルU-15	1	0	3	4	11	-7	3
10	浦和レッドダイヤモンズJY	0	2	2	4	9	-5	2
11	FC東京U-15深川	0	1	3	2	7	-5	1
12	三菱養和SC巣鴨JY	0	1	3	6	14	-8	1

2012 関東ユース(U-15)サッカーリーグ2部

●3月25日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	クマガヤSC	4	0	0	14	5	+9	12
2	横浜F・マリノスJY追浜	4	0	0	9	4	+5	12
3	鹿島アントラーズつくば	3	0	0	11	4	+7	9
4	前橋FC	2	1	1	8	5	+3	7
5	ヴェルディSS小山	2	1	2	10	11	-1	7
6	湘南ベルマーレJY	2	0	3	18	13	+5	6
7	柏イーグルスTOR'82	2	0	2	7	8	-1	6
8	GRANDE FC	1	1	2	3	6	-3	4
9	ヴァンフォーレ甲府JY	1	0	3	4	7	-3	3
10	WINGS U-15	1	0	3	4	15	-11	3
11	FC古河JY	0	1	2	1	5	-4	1
12	AZ'86東京青梅	0	0	4	4	10	-6	0

4種

J A全農杯チビリンピック 2012 関東地区予選

3月24、25日 綾瀬スポーツ公園

●予選リーグB

府中新町FC 0-6 レジスタFC

ヴァンフォーレ甲府U-12 1-3 レジスタFC

※レジスタFCは1位通過

●予選リーグD

江南南サッカー少年団 4-0 高崎エヴォリスタU-12

江南南サッカー少年団 0-2 東京ヴェルディ

※江南南サッカー少年団は2位通過

●決勝トーナメント・1位パート

準決勝

栃木SCジュニア 1-4 レジスタFC

決勝

レジスタFC 6-0 鹿島アントラーズジュニア

※レジスタFCが優勝。全国大会へ出場する

●2位パート

準決勝

SHCFC 1-5 江南南サッカー少年団

決勝

ヴァンフォーレ甲府U-12 0-1 江南南サッカー少年団

※江南南サッカー少年団が2位パート優勝

フットサル

PUMA CUP 2012

第17回全日本フットサル選手権大会関東大会

1月14~29日 前橋市民体育館

1回戦 lwatsuki Futsul Club 0-0 ZOTT WASEDA (3PK4)

第14回関東フットサルリーグ(2部)参入戦

2月25日・6日 熊谷スポーツ文化公園くまがやドーム

1回戦 インペリオ浦和 0-0 カミーザ(東京都) (4PK3)

2回戦 インペリオ浦和 0-1 P.S.T.C.ロンドリーナ(神奈川県)
※ベガラーFC千葉が参入し、ACセニョール千葉(2部12位)は残留した。

第14回関東フットサルリーグ1部2部入替戦

2月12日 熊谷スポーツ文化公園くまがやドーム

アルティスタ埼玉(1部7位) 5-0 デルソーレ中野(2部2位)

関東女子フットサルリーグ参入戦

2月4日・12日 熊谷スポーツ文化公園くまがやドーム

1回戦 武蔵浦和FC(埼玉2位) 3-2 CAカラージャメニーナ(茨城)
サイコロ(埼玉1位) 9-1 宇都宮チェルトFC

2回戦 武蔵浦和FC 3-3 シュートアニージャ(神奈川)
(2PK3)

サイコロ 7-1 うー魚(東京2位)

決定戦 サイコロ 3-0 マルバラガッツァFC(関東8位)

※サイコロが関東リーグ昇格、セウパレータA&S(関東7位)が残留。

大会記録●選抜

第9回関東女子トレセンリーグ(U-12)

●全日程終了

順位	チーム名	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城	栃木	群馬	山梨	勝点	差
1	東京都	*	1△1	4○0	3○0	4○1	5○1	9○0	1○0	19	+24
2	神奈川県	1△1	*	3△3	1○0	1△1	3○0	2○0	6○0	15	+12
3	千葉県	0●4	3△3	*	0●2	4○0	2○0	3○1	15○0	13	+17
4	埼玉県	0●3	0●1	2○0	*	0●1	3○0	4○0	3○0	12	+7
5	茨城県	1●4	1△1	0●4	1○0	*	0●1	2○0	1○0	10	-4
6	栃木県	1●5	0●3	0●2	0●3	1○0	*	0●1	3○0	6	-9
7	群馬県	0●9	0●2	1●3	0●4	0●2	1○0	*	0●4	3	-22
8	山梨県	0●1	0●6	0●15	0●3	0●1	0●3	4○0	*	3	-25

第18回少女サッカー都県選抜チーム関東・東北交流大会

1月15日 埼玉県サッカー協会東松山サッカー場

埼玉県 4-0 秋田県

埼玉県 0-0 栃木県

(3PK4)

3位決定戦

埼玉県 1-0 神奈川県

※優勝は東京都

第19回神奈川県少女選抜サッカー大会

2月4、5日 星槎湘南スタジアム(星槎大学)

予選リーグC

埼玉県 0-1 大阪府

埼玉県 3-1 長野県

2位トーナメント

埼玉県 0-0 神奈川県白ゆり

(4PK2)

埼玉県 3-2 滋賀県

※埼玉県選抜は5位

フットサル

トリムカップ2012

第4回全国女子選抜フットサル大会関東大会

1月14日、15日 千葉県立総合スポーツセンター

●予選リーグB

順位	チーム名	埼玉県	栃木県	茨城県	山梨県	勝点	得点	失点	得失差
1	埼玉県	*	1○0	2○0	4○0	9	7	0	+7
2	栃木県	0●1	*	1△1	10○1	4	11	3	+8
3	茨城県	0●2	1△1	*	1△1	2	2	4	-2
4	山梨県	0●4	1●10	1△1	*	1	2	15	-13

※埼玉県選抜はBグループ1位となり3月に開催される全国大会に出場する

トリムカップ2012 第4回全国女子選抜フットサル大会

3月23日~25日 大阪市中央体育館

Aグループ

埼玉県選抜 1-3 佐賀県選抜

静岡県選抜 3-1 埼玉県選抜

大阪府選抜 2-2 埼玉県選抜

※埼玉県選抜は決勝トーナメントへの進出はならず。優勝は兵庫県選抜

インフォメーション

●ワールドカップ最終予選は埼玉で3試合

2014 FIFA ワールドカップアジア最終予選が6月から始まります。日本はグループBとなりました。年内3試合行われるホームゲームはすべて埼玉スタジアム2002での開催となりました。

皆さんの熱い声援をお願いします。

6月3日 日本 vs オマーン 19:30～

6月8日 日本 vs ヨルダン 19:30～

9月11日 日本 vs イラク (時間未定)

●高円宮杯U-18サッカーリーグ2012 プレミアリーグEAST開催

昨年から全国を東西に分けて開催されている「高円宮杯U-18サッカーリーグ2012 プレミアリーグ」が4月15日に開幕します。埼玉県勢としては、浦和レッズユースが出場しています。ご声援ください。

4月15日(日) 11時～ 浦和レッズユース vs 静岡学園高校
埼玉スタジアム第2

●レフェリーカレッジ2012への入学決定

レフェリーカレッジ2012(8期生)に、本県から阿部将茂さん(26歳)が入学することになりました。浦和学院高校から東海大に進学し、2006年に2級審判となり活動を続けています。がんばってください。

●埼玉県体育賞決定

3月17日、埼玉県体育賞の授与式が行われました。

功 勞 賞 遠山 茂(埼玉県シニア連盟会長)
優秀選手賞 浦和レッズレディースジュニアユース
※全日本女子ユース(U-15)選手権大会4連覇
会長特別賞 佐々木則夫(なでしこジャパン監督)
望月 聡(なでしこジャパンコーチ)
山郷のぞみ(浦和レッズレディース)
矢野 喬子(浦和レッズレディース)
熊谷 紗希
(浦和レッズレディース→FFCフランクフルト(ドイツ))
安藤 梢
(浦和レッズレディース→FCR2001デュイスブルク(ドイツ))
上尾野辺めぐみ
(アルビレックス新潟レディース。武蔵丘短大卒業)
※FIFA女子ワールドカップ優勝によるものです。おめでとうございます。

●NHKさいたま放送局より、感謝状を授与

3月22日、第87回放送記念日に、NHKさいたま放送局(畑野祐一局長)から感謝状をいただきました。今年度は東日本大震災という未曾有の災害に対し、緊急対応や復興支援等に活動された数団体に感謝状が授与されました。

本協会は第4種サッカーリーグ選手権大会決勝の際、NHKさいたま「さすな」プロジェクトに賛同し、埼玉スタジアムへ被災地の子ども達を招待しての交流試合実施し、その様子の放送紹介や、メッセージボール交換などの協力をさせていただきました。今回はその取り組みが「地域放送の充実とステーションイメ

編集後記

●決して忘れることのできない2011年3月11日から早1年が経過しました、あの日以来、あらゆるところで目に付く漢字が「絆」です。サッカーファミリーが心をひとつにして復興に尽力していきましょう。(高橋)

●震災から1年が過ぎました。もう1度、自分に出来る事を見直してみたいと思います。(坂庭)

●最近、お香のいろいろな香りを楽しんでいま

す。寝る前や休日には、お気に入りのお香をたいてリラックスしています(ハハ)(こいち)

●先日ちょっと息抜きがしたくなり、可愛い友達(高校生!)のお母様が先生をしている「つるし雛」を見に椿山荘へ。1つ1つは細やかなのに全体だと華やかで色鮮やかで、初めて目にしましたがとても素敵な空間でした。(かのう)

●しばらく風邪と面白い話しはご遠慮下さい。

ージの向上に多大なる貢献をした」と評価されてのことです。

つきましては、4種リーグを支えて下さっている関係者の皆様のお力添えがあり、授与されたことをご報告申し上げます。今後とも、NHKさいたま放送局様には様々な大会などでご協力をいただき、共に埼玉のサッカーを盛り上げていただければと思います。ありがとうございました。



●ユニクロサッカーキッズ! in 西武ドーム開催

3月26日に西武ドームで「JFAキッズサッカーフェスティバル ユニクロサッカーキッズ!」が、初めて野球場、それも西武ドームを会場にして開催されました。午前・午後を合わせて、84チーム、約1,000人もの子どもたちがミニサッカーを楽しんでくれました。

会場ではゲストとして、都築龍太さん(元浦和レッズ)、川上直子さん(元日本女子代表)が子どもたちを出迎え、さらにはコバトン、レディア、アルディ、そして埼玉西武ライオンズのレオ、ライナもその輪の中に加わりました。

子どもたちの一生懸命なプレーに、スタンドからは温かな拍手と歓声が溢れていました。



●日本サッカー協会も公益法人になります

この4月1日より、日本サッカー協会は「公益財団法人 日本サッカー協会」へ名称変更となります。ご注意ください。

肋骨骨折につき、胸が痛みます……。 (小豆澤)

●NYへ旅立ちます! ブロードウェイなど満喫してきます! 帰ってきて会話が英語になっていたらごめんなさい(笑・佐々木)

●梅の花が終わり、桜の季節となりました。月日の経つって本当に早いですね。「サッカーを愛する皆様」1年間御協力有難うございました。(栗島)